

# 仙台湾地域漁業復興プロジェクト

宮城県七ヶ浜町

事業実施者：宮城県漁業協同組合

使用船舶名：大吉丸(12トン)

支援期間：平成25年10月1日～平成28年9月30日

(刺網漁業ほか)

## (取組の内容)

- 新漁法の導入：サバ漁において従来の刺網に加え釣りを導入することによる単価19%のアップ
- 漁獲物の高品質化：海水冷却装置等の導入による水揚金額増加
  - ヒラメ・カレイ類等漁獲物の単価5%アップ
  - ミズダコの活魚化による単価23%アップ
  - 氷代等の経費削減
- 省エネ・省コスト化：省エネエンジン・LED集魚灯の導入による燃料消費量2.5%削減
- 消費拡大：“釣りサバ”のブランド化
  - 水産物販売所の建設及びこれを活用した地元水産物のPR・販売促進
  - 活魚化したミズダコの販路拡大→市場活性化



改革型漁船の導入



釣リサバ

## (事業の成果)

- サバ漁不振の中、漁獲量は従前より約16%減少(74トン→62トン)したが、単価が**約57%向上**(346円/kg→545円/kg)したことにより、水揚金額が約32%増加(25,608千円→33,940千円)。これにより、収益性回復の見通しを立てることができた。
- 省エネ型エンジン・LED集魚灯の導入により、燃油消費量が**8.7%削減**された。
- 海水冷却装置等の導入により、ヒラメ・カレイ類等**主要漁獲物の単価が大幅に(445円/kg→751円/kg)向上**するとともに、まとまった数量のミズダコ活魚出荷が可能となることで、市場活性化を図ることができた。